

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライズ児童デイサービス上永谷		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		～ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援室のスペースの確保と職員の定着	限られたスペースの中で活動に支障のないよう、物の配置を行いより広く室内が使えるよう工夫を行っています。 職員が働きやすい環境を心がけ、定着に繋げています。	状況に応じて物の配置転換を行い、室内の有効活用をしていきます。 職員とのコミュニケーションを密にとり、些細なことでも伝えられる職場を目指します。
2	意見交換の機会が多く業務改善に繋がられている	毎日の朝礼・昼礼・終礼に加え、月1回の全体ミーティングやその他必要に応じた会議を実施しています。一人一人が発言しやすい環境にも気を配っています。	ミーティングで話し合った内容にすぐに取り組めるよう、チームで対応していきます。 たくさん意見を参考に業務効率化を目指します。
3	学校やご家庭への情報共有が徹底されている	学校送迎時では申し送りを受けたり、事業所での行動の確認を行っています。ご自宅送迎では当日の様子をお伝えしたり、近況をお聞きしています。場合によってはお電話やライン等で相談を受けたり助言を行っています。	早急に伝える必要のある内容は電話で伝えたり、申し送りを丁寧に行ったり、どの職員が対応しても困らないよう、職員間の情報共有にも強化を図ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のこどもとの活動の機会が少ない	地域で行われている行事には積極的に参加しているが、こどもたちと関われる機会がほとんどない。 イレギュラーの苦手なこどもが多いため、出先での対応に困難を感じることもある。	今後も地域行事に積極的に参加する。 イレギュラーが想定される場合は事前に確認するなど必要な情報収集を行う。
2	第三者による外部評価が行われていない	他社からのコンプライアンスチェックの実施は行っているが、その他の外部評価は行われていない。	外部評価は事業所単位で行うことはできないが、常に間違いないようチェック体制の強化を図ります。
3	開かれた事業運営の機会が少ない	事業所の行う行事に招待したり、参加できる行事の実施がない。	まずは保護者参加型の行事から再開し、地域の方でも参加できる企画立案実施を計画していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ライズ児童デイサービス上永谷

公表日 令和7年3月1日

利用児童数 令和6年10月1日 38名

回収数 29

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	2	1	0		概ねスペースの確保にはご満足はいただいておりますが、活動内容によって有効的な使い方を工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	2	0	1		毎日基準以上の職員配置をしております。あらためて適切な職員数をお伝えしてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	4	0	1		床マットの色で構造化を行っています。室内のバリアフリーは概ね対応できていますが、構造上階段は難しい状況です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	2	0	1		毎日清掃を行い清潔を心がけています。座って活動をする場所や余暇スペースを分ける工夫を行っています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1	0	1		概ねご満足はいただいておりますが、専門性が発揮できていない場面もあるため、情報共有を欠かさず行います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1	0	0		個別の特性に応じた支援内容を考えています。上記同様、日々の情報共有をもとに対応しております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	0	0	0		面談等で最新の情報を取得し、個別支援計画書を作成しております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	1	0	1		上記同様
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	0	0	0		上記同様
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	4	0	3	チャレンジプログラムは個人のレベルによって変えてもらえたらありがたいです。	ご指摘のありました個別プログラムではレベルに合った内容を充実できるよう、見直しを行います。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	0	10	9	10	不要。不要なので今のままで良いです。	ご家族からの要望はほとんどありませんが、公園などに行った際は配慮しながら一緒に過ごせる環境をつくります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	0	0	1		ご契約の際に丁寧な説明を心がけております。また、変更があった場合にも配布物等でお知らせしています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	2	0	0		面談等で説明を行い同意を得ております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	5	5	7	ビラ配布で情報提供あり。以前参加させていただいたことがあるので、また機会を作ってほしい。	コロナ禍より家族参加型のイベントを行う機会がなくなりました。今後は積極的に計画し実行に繋げていきたいと思っております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	3	0	1		送迎時の申し送りにて当日の様子や気になることがあれば随時お伝えしております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	2	0	1		年2回の面談に加え、必要に応じて電話やLINEにて助言の機会を設けております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	0	0	1		お子さま一人一人に応じた支援を職員一同心がけて対応しております。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	4	12	13	働いている保護者も多く難しいのでは？	要望は少ないですが、保護者同士の交流ができる機会は検討したいと考えます。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1	0	2		事前に予定を決めて対応したり、急な申し入れについてはお時間をいただきますが、事柄が大きくなりたくないよう対応させていただいております。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	0	0	0	LINEを使いこまめに連絡してくださっています。急なやりとりがスムーズにでき	できる限り迅速な対応を心がけております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	1	0	1		日々の活動の様子がホームページの毎日のブログの更新や大きなイベントについてはInstagramを活用し発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	0	0	0		写真掲載についてはダブルチェックを行ったり、情報が事業所外に出ないように細心の注意を払っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	2	0	3	されていると思いますが、記載されている全ととなるとよく分かりません。	各マニュアルの策定はされていますが、周知説明はできていないものもあるため、今後の課題になります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	0	0	5	定期的に近くの学校まで子どもたちを連れて避難訓練をしています。	地震を想定した避難訓練は年2回行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1	0	3		安全計画の周知はできておりませんが、日々危険のないような支援を心がけ対応をしております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	1	0	3	事故がないので分からない。	事故が発生した際は速やかに保護者へ連絡をし、適切な対応を行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	0	0	0	すごく安心していると思います。安心し心の拠り所となっております。	安心安全を常に心がけ対応をさせていただいております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	2	0	0	「今日はライズさんの日だよ」と伝えるとニコニコします。楽しみにしています。参加日以外でも毎日「ライズ♪ライズ♪」と言って楽しみにしていることが伝わります。毎回とても楽しみにしています。	「どちらともいえない」の声もあるため、子ども一人一人が「ライズに行きたい！」と感じていただけるよう、活動内容を工夫したり、子どもたちの声を活かしたプログラムを再考いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	2	0	0	満足しています。いつもありがとうございます。とても満足です！！たまに子どもと一緒にブログを見るのですが、皆さんが楽しそうにしているのを見て、こちらも自然と笑顔になっています。大満足です。	上記同様

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ライズ児童デイサービス上永谷		公表日		令和7年 3月 1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		11	0
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		11	0	利用人数に応じて職員数も調整している。	土日は休憩時間に職員が少なくなる時間がある。希望休や職員配置の関係でバラつきがあるため配慮が必要（要検討）	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		10	1	スケジュールボードやおもちゃを選ぶボードなど、分かりやすい場所に配慮されている。マットの色分けにより空間を仕切りやすい。	外階段は構造上、完全なバリアフリー化は難しい。入口や階段など一部差あり。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		11	0	室内温度調整・清掃も行き届いている。	壁の落書きや清掃の見落としが見受けられるため、気づいた時に共有し速やかに対応する。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6	5	パーテーションを使用。必要に応じて事務所に個別対応を行っている。	パニック等で落ち着けるスペースの確保が難しい。破損箇所が多く使用できる空間が減っているが安全を優先し対応を行う。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		11	0	情報共有の機会は多く、様々な意見を聞けるため改善は比較的早くできている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		11	0	朝礼やミーティングで共有し、すぐに取り掛かれる内容は迅速に、段取りの必要な内容は検討しながら改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		11	0	朝礼・昼礼・終礼等で意見や情報共有できる機会がある。月1回の全体ミーティング。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	5	コンプライアンスチェックは定期的に行われている。	第三者評価は行っておらず職員への周知もできていなかったため周知する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		10	1	正職員の月別研修を行っている。	非常勤職員の研修参加機会が少ないため、最低限の研修の受講機会を設ける。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		11	0	ホームページにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		11	0	年2回の面談を実施し、ご家庭や学校での様子を把握することで個別支援計画書を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		10	1	全体ミーティングにて児童の最新情報を共有し検討する機会を設けております。	計画書作成の都度行うことはできておりませんが、日々の情報を抽出し反映していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		10	1	共有漏れのないよう日々のミーティング等で伝達を心がけております。	どのような計画で支援を行っていくかの情報共有を細かに行います。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		10	1	日々の様子を記録する書類が確認しやすい場所に置かれている。	経過記録を用いて日々の様子の把握に心がけます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		11	0	面談等で保護者から習得した情報を反映することで個別支援計画書を作成し、職員が支援を迷いなく行えるよう、支援内容を具体的に簡潔に設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		10	1	適宜どのように対応すると良いかをチームで考え、良い方向に向かうような提案ができる環境を整えております。	新たな方法を考え、全員が参加できる環境をつくります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		10	1	集団レクリエーションや外出が増やせるとよい。	新しいプログラムへのチャレンジには消極的になりがち、検証を十分に行う必要がある。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	1	個別・集団はその日の状況をみながら実施できている。	下校時間やコンディションにより活動が縮小される場合がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	朝礼・昼礼・では細かな確認を行い伝達漏れのないよう心がけています。	伝達漏れに注意する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	送迎から戻ってきたタイミングで車内での様子や気づきを共有する時間を設けている。	伝達漏れに注意する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	毎日の経過記録では些細な気づきでも記録を心がけ、変化がみられた場合には検証・改善につなげている。	伝達漏れに注意する。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	計画内容にとらわれず、日々の変化に対応できるように心がけております。	伝達漏れに注意する。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10	1	子どもの自立度合いに合わせて支援を行っている。	「本人・家族・移行・地域支援」それぞれに合った支援の提供を考えていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	おやつのパイキング形式が良い。	ルール・マナーに沿った意思の尊重を考えながら支援に反映させていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	管理者兼児発管およびOJT職員が参加できている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	2	相談支援事業所に関わっている児童は密に連携がとれています。学校送迎時の申し送りでもできるだけ情報共有を心がけています。	関連機関や先生との関わりが少ない児童や土日利用の児童の学校の過ごしがみえにくい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	学校との情報共有ができていところには問題はおきにくいですが、こまめに連絡をするよう心がけています。	上記同様
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	2	書面にて保護者より共有いただけています。	就学前に利用されていた事業所等との情報共有は難しいが、保護者より共有をいただき支援のヒントを得ることを行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	3	相談支援事業所を利用されているお子さんへは支援計画書を共有したり活動場面の見学をしていただく機会がある。	左記以外は情報開示を行いにくい。積極的にお知らせするか、保護者から提供していただく流れをつくる必要がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	4	地域の研修ではないが、外部研修を年数回受講している。	地域で行われている研修などには積極的に参加し連携を図ったり顔見知りになるきっかけをつくる必要がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	6	地域のイベントがある時に参加している。	あったら良いが難しい。保護者により意見が異なる。参加できる活動には積極的に参加したいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	4	日程が合えば参加している。	日程調整が難しい場合参加できないことがあるため、事前に予定がわかるとありがたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	送迎時での申し送りでは些細な様子もお伝えしています。	対応の難しい案件では支援方法の更新までに時間がかかることがあるため慎重な検討が必要。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	4	できていない。	情報提供（配布物等）は適直行っているが、機会を設けることはできていません。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	管理者が行っている。	契約時や変更時、書面等での説明を行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	上記同様	上記同様
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	上記同様	上記同様
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	上記同様	上記同様

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	11	コロナ禍前は茶話会を実施していた。 保護者により意見が異なる。	コロナ禍以降交流の機会がなくなった。 限られたスペースでの開催が難しい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	できるだけ迅速に対応に心がけています。	対応や検討に難しい場合、時間がかかることが想定されます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	毎日ブログ更新をしている。	1か月のスケジュールカレンダーをホームページに掲載できないか？
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	職員一同取り扱いには十分に気をつけております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	職員一同、意識をしながら対応を心がけております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	11	商店会のイベントに参加する機会はある。 子どもたちも楽しそうな様子。	特性理解から周知していく必要があると考えます。そのうえで、参加できる企画を検討し実行できる取り組みを行います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0		各種マニュアルは存在するが、家族への周知ができていないものもあるため、面談の機会にお伝えしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	定期的に避難訓練を行っている。	様々なパターンの訓練を検討・実施を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	連絡帳やファイルを確認している。	服薬忘れのないよう、全員で把握できる工夫を行います。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	医師の指示書が必要な子どもはいない。	指示書の提示があった場合は職員全員が取り扱いに疑問が生じないよう、対応をしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		研修月以外でも意識して行動できる機会を作っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1	緊急の場合の連絡方法は周知できている。	どのように周知していくかを検討し、できるだけ早い段階での周知を行います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	毎日ヒヤリハットの報告を心掛けている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		研修後にも気になる場面や気づきを伝え、一人で抱え込まないような配慮を行います。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	2	身体拘束が必要な児童は現在おりません。	今後対象児童の在籍がある場合は、計画書への記載とともに、適切な対応を心がけます。	